

年度「2019年度シラバス」、フォルダ「名古屋校舎-協定留学生（日本語コース）」
シラバスの詳細は以下となります。

ナンバリング			
科目名	日本語VI（伝統的日本を学ぶ）		
担当教員	石川 智嘉子		
対象学年	クラス	B	
講義室	L702	開講学期	秋学期
曜日・時限	金1	単位区分	
科目種別		単位数	
準備事項			
備考			
テーマ Theme	日本の伝統文化について学ぶ。		
概要 Synopsis	日本の伝統文化、すなわち伝統工芸、伝統芸術（芸道・芸能）などのなかで、2つのテーマを選び、それについて調べ、発表する。教室で共有した知識をもとに4つの体験活動を行い、専門家の解説および質疑応答などにより理解を深める。さらに得られた知識と体験をもとに感想を中心に作文を書き、それを発表し、ディスカッションを行う。		
到達目標 Aim	日本の伝統文化を調べて発表することができる。専門家の日本語での解説を理解し、質疑応答ができる。体験活動を通して理解を深め、レポートにまとめることができる。レポートの発表やディスカッションができる。この一連の作業を日本語で行うことにより、日本の伝統文化の理解ならびに日本語の4技能を高めることができる。		
授業形態 Class style	一斉授業		
使用言語 Language(s)	1. <input type="checkbox"/> 日本語のみ Japanese only 2. <input type="checkbox"/> 日本語と外国語 Japanese and foreign language(s) 3. <input type="checkbox"/> 外国語（日本語以外）のみ Foreign language(s) other than Japanese		
アクティブ・ラーニング Active Learning	1. <input type="checkbox"/> PBL（課題解決型学習） Project-based learning 2. <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート Discussion, Debate 3. <input type="checkbox"/> グループワーク Group work 4. <input type="checkbox"/> プレゼンテーション Presentation 5. <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク Applied practice, Fieldwork		
内容・スケジュール Contents, schedule	第1回 オリエンテーションと名古屋市および日本の祝祭日について 第2回 日本の年中行事および歴史について 第3回 日本の歴史または和食または伝統工芸について調べて発表する① 第4回 日本の歴史または和食または伝統工芸について調べて発表する② 第5回 和食体験活動 第6回 日本の伝統スポーツまたは茶道または伝統楽器について調べて発表する① 第7回 日本の伝統スポーツまたは茶道または伝統楽器について調べて発表する② 第8回 陶芸体験活動 第9回 和食体験についての作文の発表とディスカッション 第10回 空手体験活動 第11回 陶芸体験についての作文の発表とディスカッション 茶道について学ぶ 第12回 茶道体験活動 第13回 空手体験・茶道体験についての作文の発表とディスカッション 第14回 プレゼンテーション① 第15回 プレゼンテーション②		
準備学習・事後学習 Preparation, review	課題の準備(調べて発表する)・復習(レポートの作成とその清書)をしっかり行うこと		
学外授業 Outside activities	あり		
成績評価の方法と基準 Evaluation&criteria	プレゼンテーションとその原稿) 40% 体験活動前の発表 10% 体験活動後のレポート(清書含む) 20% レポートの発表とディスカッション 20% 日常活動(出席、授業態度など) 10%		
定期試験期間中の試験実施方法 Exam period	1. <input type="checkbox"/> 定期試験期間中に筆記試験を実施する。An exam will be held during the exam period. 2. <input type="checkbox"/> 定期試験期間中に単位レポートを課す。A report must be submitted during the exam period. 3. <input type="checkbox"/> 定期試験期間中には筆記試験・単位レポートを実施しない。No exams or report are required during the exam period.		
テキスト Textbooks	適宜プリントなどを配布		
参考図書 References	なし		
関連する科目、履修者への要望 など Requests, etc.	体験後に作成するレポートや最終プレゼンテーションは、単なる感想や報告だけではなく、時刻の文化との比較・分析・考察も行うこと。授業中の積極的な発言を期待する。		
リンク Link			